# 報告 農１

全員協議会資料
令和４年(2022)１１月２８日
農林水産部農業振興課

## 高病原性鳥インフルエンザの発生状況等（家きん）について

本年は、高病原性鳥インフルエンザの国内発生が、例年になく早い時期から確認されています。10月28日に今シーズン1例目が発生して以降、16件（11月23日現在）の発生が確認されています。

市では、出雲市緊急事態対処計画に基づき、国内、県内、市内の発生別に対策本部等を設置し、市内発生した場合は、県の要請を受けて防疫作業に協力します。

### １　国内の発生状況（家きん）

| 件 | 疑似患畜判定日 | 地域 | 種別 | 羽数 | 件 | 疑似患畜判定日 | 地域 | 種別 | 羽数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10/28 | 岡山県倉敷市 | 採卵鶏 | 17万羽 | 9 | 11/13 | 兵庫県たつの市 | 採卵鶏 | 4.4万羽 |
| 2 | 10/28 | 北海道厚真町 | 肉用鶏 | 17万羽 | 10 | 11/18 | 鹿児島県出水市 | 採卵鶏 | 12万羽 |
| 3 | 11/1 | 香川県観音寺市 | 採卵鶏 | 4万羽 | 11 | 11/18 | 新潟県阿賀町 | 肉養鶏 | 15万羽 |
| 4 | 11/4 | 茨城県かすみがうら市 | 採卵鶏 | 104万羽 | 12 | 11/20 | 宮崎県新富町 | 採卵鶏 | 16万羽 |
| 5 | 11/4 | 岡山県倉敷市 | 採卵鶏 | 51万羽 | 13 | 11/20 | 青森県横浜町 | 肉養鶏 | 12.2万羽 |
| 6 | 11/7 | 北海道伊達市 | 肉用鶏 | 15万羽 | 14 | 11/22 | 香川県観音寺市 | 肉養鶏 | 2.4万羽 |
| 7 | 11/11 | 岡山県倉敷市 | 採卵鶏 | 3.4万羽 | 15 | 11/23 | 香川県観音寺市 | 採卵鶏 | 1.4万羽 |
| 8 | 11/11 | 和歌山県白浜町 | あひる等 | 60羽 | 16 | 11/23 | 宮城県気仙沼市 | 肉養鶏 | 2.1万羽 |

### ２　市内における県の対応状況

- ▸ 9月30日～11月24日　鳥インフルエンザ関係課連絡会（野鳥発生確認から6回開催）
- ▸ 9月29日～11月24日　市内飼養者へ発生情報の伝達、飼養衛生管理基準の遵守徹底と異常発見時の早期通報の喚起
- ▸ 10月26日　市内の100羽以上飼養施設への立入検査（飼養衛生管理状況を指導）を完了
- ▸ 10月28日　家きんでの国内初事例を受けて、市内100羽以上飼養施設を調査し異常がないことを確認。100羽未満の飼養者に対しては、文書にて注意喚起及び希望者へ消毒薬配付を通知
- ▸ 10月31日　100羽以上飼養施設に消石灰を配付開始

【　市内100羽以上飼養施設　】

①　野石谷町　採卵鶏　34,000羽
②　西園町　採卵鶏　7,000羽
③　大津町　採卵鶏　100羽
④　斐川町　放鳥雉　100羽
⑤　大社町　ダチョウ（エミュー）　10羽（※100羽以上と同様の対応）

【　市内100羽未満飼養者　】

飼養者数44戸　採卵鶏667羽、その他186羽

### 3　市の対応状況

▸ 9 月 29 日～11 月 24 日

出雲市鳥インフルエンザ対策連絡会における発生情報の共有
県出雲家畜衛生部との情報共有及び市内発生時の対応準備

▸ トキ分散飼育センター

［通年実施］

① 分散飼育センター入口、学習コーナー入口　　踏込式消毒マット設置
② 分散飼育センターのゲート　　車両用消毒マット設置
③ 衛生管理区域侵入車両　　噴霧式消毒装置でタイヤ消毒

［今回設置］

① 公開施設入口（来館者用）　　踏込式消毒マット・表示看板設置
② 分散飼育センター外周　　消石灰散布

**高病原性鳥インフルエンザ発生時における本市の組織体制**

| 発生区分 | 出雲市が設置する組織 | | 主な対応 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 名称 | 構成 | |
| **国内** | **出雲市鳥インフルエンザ対策連絡会** | 【総括者】防災安全部長<br>【組織構成】農林水産部、防災安全部<br>【事務局】防災安全課、農業振興課 | 関係各課の対応確認（情報共有） |
| **県内**<br>※隣県で発生し県が対策本部を設置した場合も含む | **出雲市鳥インフルエンザ対策警戒本部** | 【本部長】副市長<br>【組織構成】農林水産部、防災安全部、総合政策部(広報)、総務部、財政部(経理、車両)、健康福祉部(健康相談)<br>【事務局】防災安全課、農業振興課 | 上記に加え<br>・対策本部の設置準備<br>・防疫対応準備<br>（動員、広報、集合場所、消毒ポイント、埋焼却場所等） |
| **市内**<br>※隣接市町で移動制限区域に出雲市が入る場合も含む | **出雲市鳥インフルエンザ対策本部** | 【本部長】市長<br>【組織構成】全部局、行政センター<br>【事務局】防災安全課、農業振興課 | 市民への情報提供、注意喚起<br>※県が行う防疫業務への協力は、防疫対策本部体制で対応 |
| | **出雲市家畜伝染病防疫対策本部** | 【本部長】市長<br>【副本部長】副市長、教育長<br>【総括部】総合政策部長、総務部長、財政部長、健康福祉部長、農林水産部長、防災安全部長<br>【各班】<br>・総務（班長/総務課長、副班長/人事課長、財政課長、管財契約課長、防災安全課長）<br>・防疫対策（班長/農業振興課長）<br>・広報（班長/広報課長）<br>・保健（班長/健康増進課長）<br>【事務局】農業振興課 | ・防疫対応（市は県が行う防疫業務に協力）<br>・協力する業務の例<br>1 発生農場等の防疫措置の協力<br>2 疫学調査及び周辺検診業務の協力<br>3 通行規制及び消毒ポイント業務の協力<br>4 評価に係る協力<br>5 住民への広報の配布等の啓発周知<br>6 一般住民からの問い合わせ対応 |

※市内で発生した場合は、「出雲市鳥インフルエンザ対策本部」と「出雲市家畜伝染病防疫対策本部」の両方を立ち上げる。「出雲市家畜伝染病防疫対策本部」は、県が行う防疫に協力する業務を行い、「出雲市鳥インフルエンザ対策本部」は、防疫業務を含む全体的な統括とともに、全庁的な対応業務を行う。